

チームごっくんニューズレター

口腔カンジダ症

口腔カンジダ症は、主にカンジダ・アルビカンスという真菌によっておこる口腔感染症で急性型と慢性型があります。カンジダ菌は口腔内の常在菌の一種で、普段はある程度以上は菌数が増えないように他の菌と共存しています。しかし、副腎皮質ステロイド薬の投与や糖尿病、全身衰弱などによって免疫力が低下している状態、唾液量の減少、長期間にわたる抗菌薬の服用などにより常在菌のバランスが崩れ、カンジダ菌が増殖し病原性を発揮することにより発症します。



©DH. Kaneko Nobuko



©DH. Kaneko Nobuko

口腔カンジダ症

左：急性萎縮性カンジダ症、

右：慢性偽膜性カンジダ症（丸で囲んだ部分が偽膜）

このような口腔内は歯科医師に相談し、治療方法や口腔ケアの方法を教えてください。

ナース専科

口腔カンジダ症を発症してしまうと口腔ケアでは治療が出来ず、抗真菌薬が必要になります。口腔カンジダ症を発症させない事を目標に口腔管理を実施しましょう。

- ・口腔内を清潔に保つ
- ・乾燥させない
- ・不適合、不潔な義歯を使用しない
- ・口内炎が出来たら治療する
- ・口腔内の異常を見逃さない